

# 藏王山安善寺

◆編集・発行人◆  
近藤龍弘

〒940-0052  
長岡市神田町1丁目4番10  
TEL.0258-32-2811

◆スタッフ◆  
小林国二・小林善秋・高橋潔  
室賀清輝・高橋利春・加瀬由紀子  
近藤マリ子・近藤真弘・近藤善信

後援・株式会社アサヒ  
印刷・(株)北越時報社

ご家族の皆さままでご覧ください



安善寺御開山長翁存宗大和尚様のお像と開山並びに今年忌の歴代住職方のお位牌

## 藏王山 安善寺 開山長翁存宗大和尚四百五十回大遠忌

翠巖 龍弘

写真の上の二枚は、安善寺開山長翁存宗大和尚様です。右の方は江戸時代初期から祭られた開山像で、左の方はおそらく明治元年の戊辰の役で伽藍が焼失し、明治六年再建後、開山堂などが増築された時に新しく両祖様(高祖承陽大師・太相常齋大師)と一緒に作られたものと思われま

宗として開創されました。夙に教化につとめられ、住職として今日の安善寺の礎を築かれ、永祿六年(一五六三年)十一月七日に涅槃にいられました。二世安翁淳泰大和尚に法燈が伝わり、現住職は廿七世となります。

安善寺におきましても、十一月十一日(日)に開山長翁存宗大和尚正當四十五回忌、並びに下の写真のお位牌の七世三峯亮頼大和尚參百五十回忌・十世素堂閑淳大和尚參百回忌・十一世湍山道浙大和尚參百回忌・十三世良志徹妙大和尚貳百五十回忌・廿六世重興雲巖見龍大和尚廿七回忌法会を、大本山總持寺監院・乙川御老師を大導師にお迎えして厳修いたします。

御開山様は、下総國香取郡佐哦郷伊能村(現、千葉県成田市伊能)の長興院の二世でした。長興院を退住され、天文三年(一五三四年)に当地に巡錫(僧侶が各地を巡行して教導すること)されて、信徒の信頼を受けて栖吉の普濟寺を曹洞宗に改宗されました。その後、天文十二年(一五四三年)には安善寺信徒の帰依を受けて安善寺を曹洞

今年(平成24年)は安善寺が曹洞宗として開創されて四百七十年、御開山様の正當四百五十回の大遠忌を迎えます。

檀信徒の皆様方にはご多忙とは思いますが、五十年に一度の法要でございますので、是非ご出席いただき、ご焼香を賜りたく宜しくお願い申し上げます。

中央正面に祭られている開山様です。

均年数は約十七年間で、廿五世様、廿六世様は四十年以上安善寺の住職をつとめられております。

心は万境に随って転ず、転処実(まこと)に能く幽(こもり)なり。『臨濟録』



【日々精進(十八)】

# 祖跡巡拝で自身の研鑽を積む

近藤 真弘



總持寺祖院での集合写真

は祖蹟巡拝第二班の引率役寮の一人として八月二十三日から三日間修行僧と共に巡拝に行っていました。

今年の行程は国宝の伽藍を擁する高岡の瑞龍寺、能登の總持寺祖院、曹洞禪源流の古刹永光寺、總持寺二祖峨山禪師の誕生地、豊川稲荷で有名な妙巖寺、秋葉絵本山静岡の可睡斎など正に曹洞宗屈指の古刹寺院ばかりです。とても贅沢な研修です。

中でも總持寺祖院は皆さ

總持寺では毎年夏のお盆が終わる時期に、新しい修行僧を対象とした祖蹟巡拝という研修旅行があります。これは三松会という總持寺の修行僧を中心としたいわば生徒会のような組織が企画して代々行われている研修です。能登の總持寺祖院を含め主に北陸の總持寺の源流を探ると共に曹洞宗の古

刹や史跡を実際に訪れ、各所で法要を勤め、研鑽を積み目的があります。その年によつて多少の巡拝先の違いはありますが、その年の新しい修行僧が二班に分かれて、二泊三日をバスで移動しながら祖蹟を巡ります。私も十一年前修行一年目の時にこの祖蹟巡拝に参加いたしました。そしてこの度



總持寺祖院の墓地で供養諷經の導師をしている写真

んもご存じのとおり、今私が修行している横浜鶴見の總持寺が百一年前御移転する以前に伽藍を構えていた場所であり、御移転後も七堂伽藍は再建され、曹洞宗の大本山の面影をしのばせ、一代聖地として現在に至っている大本山總持寺の正に源流の地であります。七百年の歴史を感じる總持寺祖院は訪れる度に初心に帰り、背筋が伸ばされる思いがいたします。

總持寺祖院では宿泊もさせていただきました。能登の地震の復興が続いており、仏殿で行われた朝課諷經では修行僧の多くも特別な感情を抱いた様子もうかがえました。

他の目的地の中で私は一度も訪れた事がなく今回初めて参拝させていただくのを楽しみにしていた寺院があります。そこは愛知県豊川市にある通称豊川稲荷、妙巖寺です。なぜ楽しみに



豊川稲荷の本堂

していかたと申しますと、安善寺の先代が昭和二十年頃から毎年約四十年間お檀家さんと参拝旅行に行っていた話を師匠から聞いていたからです。まだ今のようにお寺がお檀家さんを集め団体参拝が無かったころ、その先駆的に毎年夜行電車やバスで参拝に行っていたそうです。

安善寺にあるお稲荷さんが豊川稲荷から分祀されたお稲荷さんで、その因縁から毎年参拝をしていた事と思いますが、先代もお檀家さんも毎年楽しみに豊川稲荷を参っていたようです。実際に私も豊川稲荷に初めて参拝し、歴史ある伽藍に触れ3万坪を超える境内地に圧倒されると共に案内を頂いた本殿では数十年前に先代の率いる安善寺の団参も同じように合掌礼拝していたのかと感慨深い気持ちを覚えました。

修行僧の引率として今回の巡拝に参加させていただきましたが、十一年前に新米修行僧として参加していた時とはまた違う視点で改めて自分自身の研鑽を積ませていただきました。

鑑明らかなれば塵垢止まらず、止まれば則ち明らかならざるなり。『莊子』



# 料理は愛情!

長岡市/トラットリア ラ・スカラ エ ビアディーナ  
オーナーシェフ 五十嵐 剛



だと方向転換を決意。

「サバティニー」、「マニン」東京のイタリアンの名店で、素晴らしいシェフの許で修業させて頂いたことは、今の自分にとって大きな財産となっている。イタリア料理の基礎を、教えて下さったシェフの事は、三十年以上経っても感謝の気持ちを忘れる事は無い。

## 出会い

建築関係の仕事が決まった頃、調理のアルバイトをしていた時に運命のシェフと出会いを果たす。そのシェフに才能を見いだされ自分の店へと誘われた時、迷いは無かった。自分の道かも知れない、いや、きっと料理こそが自分に与えられた使命なの

イタリアでは様々な出会いがあった。自分が訪れた最初の町はローマ。ワーキングビザの取得のために日本食のレストランで一年働いた。天ぷらや鉄板焼き等の日本食をはじめ、そこで働く中国人から【本格中華】も

伝授され、立派な料理のパートナーとなった。そこは外国の中の日本だった。居心地は良くイタリア人の友人もでき、暮らすには心地よい所だったが、自分の本来の目的の為、自ら茨の道を選び一路ペルージャへ。

ペルージャ外国人大学できちんとしたイタリア語を学び、ウンブリア州の料理も勉強しなかったのだ。大学に通いながらレストラン



で働く日々が続く。

ある日そこにディナーを食べに来た一人の女性。店のオーナーに「魚料理がとっても美味しかった」と感想を述べたそうである。オーナーのクラウディオは厨房

に顔をのぞかせ、私に「ホールへ来い!」と言う。そして出会ったのが妻である。

## 長岡

妻は歌う事以外はなにも出来ない。いや出来なかった。(過手形にしないと怒られる)

レストランには食へに行つたことしかないのだ。サービスのサの字も知らないし、レジ打ちも経理なんて死んでもやりたくないと言っていた。しかしお店をやるということかどうということなのかも分からない妻は、「長岡で

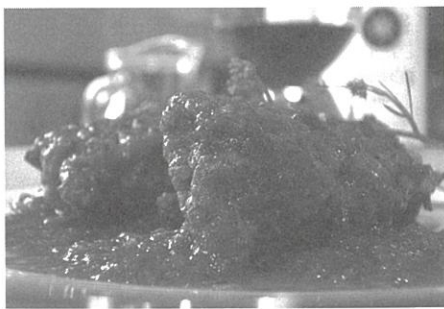
お店をやりたい」と相談した時、「やりたいなら、やっちゃえ、やっちゃえ」。しかし、いざ開店してみると妻は何のマニュアルも勉強したこともないのにもかかわらず、お客様に笑顔でサービスしていた。ただ食事に出かけて行ってサービスを

受ける事が多いため、自然と出来るようになっていたのだらうか。後で聞いてみると、「自分がされて嬉しかったことをしてるだけ」とさらっと言っていた。実はこいつ大物? と思った。



## 料理

私の料理は軽い。薄いからでも、量が少ないのでもない。毎日でも飽きずに食べられる味。イタリアマンマ(ママ)の味。重かったら毎日食べられない。イタリアの子



供達の下校時間にあわせて、マンマはパスタを茹でると聞いた。だから寄り道なんかない、大好きなマンマに

怒られるから。

私の料理は野菜が多い。メインの肉料理も魚料理にも必ず顔を出す。料理は愛情! というけれど、つつい彩りだけではなく美味しさとバランス等考えてしまふ。健康に気をつけている方こそ当店の料理を食べて頂きたい! オリブオイルにバルサミコ酢、赤ワインにチーズ、フレッシュムール貝に村上牛、佐渡や出雲崎で獲れた魚。とにかく一度食べて戴ければ、私の愛情を感じて下さると思う。

## 五十嵐 剛氏プロフィール

「サバティニー」「マニン」に於いて8年修行した後、渡伊。6年に亘り、「al sorriso」「hotel de paris」「sader」「Locanda dell'amorosa」「enotecaca pinchiorji」「le tre vasselle」などイタリア全州で研鑽を積む。前菜・パスタ・魚、肉料理からデザート・ピッツァ・パンに至るまで、そのレパートリーの広さに驚きを隠せない。イタリアンのベースを守りつつも、枠にとらわれない五十嵐シェフの料理には、常に季節感と共に遊び心が満ちている。帰国後、長岡市宮内に『トラットリア ラ・スカラ』をオープン。イタリアは田舎に行く、いいレストランがあり、そんなレストランを目指した。5年後に『ラ・ビアディーナ』を開店。現在は二つの店舗を古正寺で統合し、『トラットリア ラ・スカラ エ ビアディーナ』として営業している。スローフードに感銘を受けたその精神に基づき、地元食材にも命を吹き込み、シェフの感性を織り交ぜながらお客様に提供している。



### 越後のこころ

# 「良寛さまに親しむ展」に寄せて

長岡良寛の会 会員 安達 武男

アオーレ長岡のオープンを  
お祝いし「良寛さんに親しむ展」が開かれます。良寛がどのような信条(心)で生活されたのかを知ると同時に、私たちも、どのような「心もち」で生きるのかを考える場として多くの方々に、良寛の本モノの詩歌に触れ親しむことを願うものです。(九月二十二日～二十九日・アオーレ長岡一階交流ホールA)



名主で好學の家に生まれた良寛は、岡山玉島での厳しい修行の後、故郷越後に帰り、四季折々厳しくも美しい自然の中にあつた。なぜ、あの侘しい五合庵や乙子の宮での三十年余りの長きにわたり独居ができたのか、昭和十三年に発見された林麩雄本のなかに、良寛の信条を思わせる詩がある。

その一つに

「丈夫の踏みけん世々の古道は荒れにけるかも行く人無しに」

丈夫(ますらお)積尊のことの尊い教えが荒れ果てているのを嘆き敢えて我が歩む道を宣言していることが伺えるのである。積尊は地位も家族もすべて捨てて

も出さず多くの人達と心豊かに交わり、みづとな詩歌を詠んだ。歌は約一、四〇〇首、詩は四〇〇首もある。この生活ぶりからも良寛は、逸話や奇談のようなものが甚だ多い。むしろ詩や書から良寛の心を伺うことができているのではないだろうか。

晩年、和島村の木村家に移ってから貞心尼との出逢いがあり多くの歌を唱和している。相聞歌は恋の歌とも言われている。

貞心尼は托鉢の折々に良寛の噂を耳にし憧れをもつて良寛を訪ねているが、良寛もだんだんと気持ちが高まっている。

その一つに

「歌や詠まん手まりやつ かん野にや出ん 君がまにまに なして遊ばん」

貞心尼 「歌や詠まん手まりやつ かん野にや出ん 心ひとつを 定めかねつも」

良寛



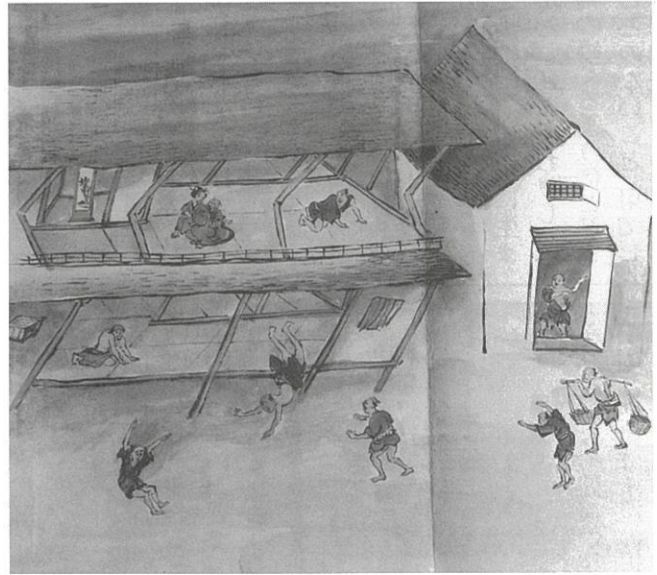
貞心尼は、歌を詠んだり手まりをついたり、野に出て遊びたい、良寛さまのおつしやる通りになって遊びたいと云えば、良寛も私も同じ気持ちです。あなたに逢えて嬉しくて、心が落ち着きません、と応えている。なんと、ほのぼのとした温かい交流でしょうか。

貞心尼が肌身離さず大切にしていた「蓮の露」の原本も展示されます。是非ご来場いただき本モノを目の当たりにし、越後のこころ、良寛さんに、もっともつと親しんで頂きたいと思うところです。

「アオーレ長岡」で展示されるいくつかの内容の中から地震について紹介します。

数年前に中越地震・中越沖地震にも見舞われ、近年





では東日本大震災と自然災害の恐ろしさが身に染み込んだものです。

実は、今から二百年ほど前の文政十一年の十一月、朝八時ころ三条市を中心四十キロ四方にわたって大地震が発生し、家屋がことごとく倒壊して、死者が三万余人と記録され目を覆う惨状であったという。

良寛はこの年、七十一歳で島崎の能登屋の草庵に住んでいた。三条方面では、震源地であったこともあり、

うちつけに死なば死なず、ながらへてかかる憂き目を見るがわびしき

しかし災難に逢う時節には

災難に逢うがよく候

これは災難をのがるる

妙法にて候

かしこ

良寛

臘八 山田杜阜 老

いかにも良寛さんらしい達観した心境を伺わせる。

被害も甚大で引き取り手のない無縁の死者が数多く、後に供養塔が建立された。

この時の見舞いの手紙が有名で会場にて紹介されます。与板町の酒造業山田杜阜に宛てたもので「悟りの境地をしめす」貴重な史料である。

手紙の内容は

地震は信に大変に候。

野僧草庵は何事もなく

親類中死人もなく

めでたく存候

### 九月〜十二月の安善寺の行事予定

#### 【吒枳尼尊天秋期大祭】

日時／九月十八日(火)  
午後十一時より

場所／安善寺稲荷堂

長岡空襲で伽藍が焼失しなかつたのは、吒枳尼尊天様のお陰と、前住がよく言われておりました。火防、家内安全などを願ってお参りしてください。

#### 【秋期彼岸会】

・彼岸入り 十九日(水)

・お中日 二十二日(土)

・彼岸明 二十五日(火)

午後十時半より法要・法話・茶話会。

秋分の当日(彼岸中日)をはさんで前後の七日間に行われる法会。ご先祖様方に感謝報恩の供養をすると同時に、心の修養週間として、彼岸に渡る精進をする日々でもあります。お墓参りだけでなく、法要にもご参詣ください。

【藏王安善寺御開山 四百五十回大遠忌】

安善寺開山存翁在宗大和尚様の正当四百五十回忌。五十年に一度の大法要です。

大勢の方々のお参りをお願い致します。なお、七世・十世・十一世・十三世・十六世の年回法要も一緒に勤めます。

日時／十一月十一日(日)  
十時半より本堂にて

お斉／ホテルニューオー

タニ長岡

【臘八撰心会(坐禅)】

日時／十二月一日(土)  
三日(月)・五日(水)

午前六時〜七時

七日(金)午後六時〜八時

場所／安善寺坐禅堂

お釋迦様の成道(お悟)を偲び、その恩得に報いる坐禅修行です。一回でもかまいませんので、是非参加してみませんか。

【釋尊成道会】

日時／十二月八日(土)  
午前十一時より法要・法話・お斉。

お釋迦様が仏陀(釋迦牟尼仏)になられた日。仏教の誕生日でもあります。

【二祖斷臂推心(坐禅)】

日時／十二月九日(日)  
午後五時〜六時半

場所／安善寺坐禅堂

二祖慧可が、十二月九日に達磨大師を崇山の少林寺に訪ね、雪中に自ら左臂を切断して求道の赤誠を示しました。その熱情を慕い祖恩に報いる坐禅です。

【山内大掃除】

日時／十二月十五日(土)  
午前八時半

本堂、位牌堂、境内地などの大掃除。ご都合のつかれる方は、お手伝い願えれば幸甚です。

他に、毎火曜の午前六時〜七時に坐禅界、月二回の写経会、月一回の俳句の会。

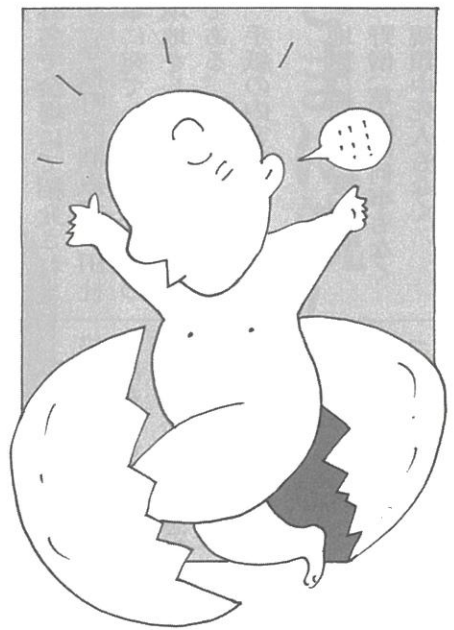


# 龍弘流 読者との Q&A (パートII)

**Q** 輪廻転生という言葉がいますが、どういうことですか？また、六道輪廻とは何ですか？

**A** 輪廻とは「生きかわり詩にかわりすること。車輪が回転してきわまりがないように、靈魂が転々と他の生を受けて、迷いの世界をめぐること」(岩波国語辞典)。また、「生物が、死んで別なものに生まれかわる過程を永久にくり返すこと」(三省堂国語辞典)といったように解説されています。

中村元先生の仏教語大辞典には、「流転ともいう。原意は、流れること。インド古来の考え方、生ある者が生死を繰り返すことをいう。衆生が迷いの世界に生まれかわり死にかわりして、車輪のめぐむるようにとどまることのないこと。果てしなくめぐりさまようこと。」



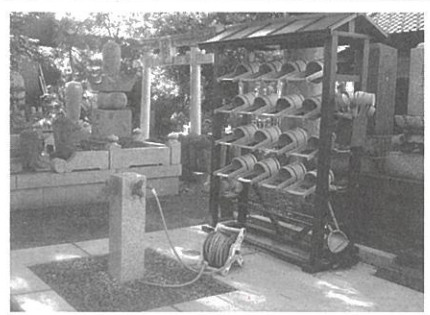
仏教では、迷いの世界のこと、三界(欲界・色界・無色界)・六道(地獄・餓鬼・畜生・修羅・人間・天界)に生死を繰り返すことをいう」と書かれております。

人間は必ず死にます。そして再び生まれ変わると考える宗教が多い一方で、死んでしまえばそれきりであるという考え方のほうが少数派のようです。現代は死後の世界を信じない人も多そうだと心のどこかで考えている人も多くいられるのではないのでしょうか。

キリスト教の死後の世界の天国と地獄は永遠の世界です。天国に生まれた人間も

## 墓参の方へのお願い

横の写真のように今夏、安善寺開山四百五十回忌記念に水屋を新たに設けました。墓地内には他に二ヶ所あります。それぞれ桶も用意してありますが、桶を利用された場合は、最初にあった場所に返してくださいませようようお願いいたします。



毎年八月十七日にお盆後の墓地掃除をしておりますが、年々瓶・缶なども少なくなってきたり、皆様のご協力に感謝申し上げます。

花のためにと瓶・缶などに水をいっばい入れてお墓にあげる心遣いもわかりますが、お盆の頃の暑い時は水が腐り、かえって早く花もダメになります。

墓地内の空き地に古い花などを捨てていられる方があります。一人捨てられると、そこがみる／＼ゴミの山になってしまいます。誰かが手を煩わせて片付けをしなければなりません。墓地の入り口にあるカゴまでお持ち願ひ捨てていただきたくお願い致します。

に在るわけです。輪廻の世界そのものからの脱出を仏教では「解脱」といいます。お釈迦様は解脱を求め二十九歳で出家され、三十五歳の十二月八日に菩提樹下で大悟されて仏陀となられ、輪廻の世界から解脱されました。「涅槃」ともいいます。

また、瓶・缶・割れたガラス片などの燃えない物はお持ち帰りを願ひます。燃えるゴミの花や紙などに混ぜてガラスの欠けら片が捨てられており、袋に回収する時、手に怪我をしてしまいました。大事にいたりましたので、危ないので、絶

対にカゴの中に捨てないようお願い申し上げます。

墓参の折りには、本堂の本尊様や菩薩様方、位牌堂に安置されておりますそれぞれの位牌にもお参りください。

## お別れ

(平成廿四年七月〜八月末まで)

丸山ヒデ子様 七月三日寂  
長岡市花園

渡邊 静江様 七月十六日寂  
長岡市新保

野口 ミサ様 八月二日寂  
長岡市千場

山内 豊一様 八月廿三日寂  
長岡市学校町

木内 博美様 八月廿四日寂  
長岡市松葉

ご冥福をお祈りします





# 旬歌 愁灯

[二十三話]

## 「パキスタン国歌」

加瀬由紀子

四年毎に開催されるスポーツの大イベント、オリンピック。ロンドン大会が八月を更に暑くして終わった。

ロンドンを訪れたのは、七年前になるだろうか。トラファルガー広場の賑わいやトライアスロン会場のハイドパーク、マラソンコースのウエストミンスター寺院などがテレビに映るとなつかしさがこみあげてくる。

パリが芸術の都市ならばロンドンには知識の都市、と書いた記憶がある。落ち着いた街並みと、成熟した文化に育まれた人々の立居振舞に、大英帝国のプライドを感じたものだった。

このたびの五輪も、開会式にミスタービーンの新モアあふれるパロディや「女王陛下の007」のシーン、ビートルズやミック・ジャガーのロックミュージックの映像に乗って、産業革命やヴィクトリア朝の歴史絵巻

(シエイクスピア、ピーターパン、ハリー・ポッター、「ゆりかごから墓場まで」の福祉場面等)様々な意匠が込められている)が演じられた。また閉会式の「イマジン」をメインにした内容にも、さすがに円熟したヨーロッパの国と興味深かった。

先回の北京大会が、人海戦術・成金趣味の威容自慢(口パクの歌で問題になった件もありましたね)で辟易した内容と比べてしまうのかも知れないが。

ときにわが娘・加瀬加奈子は、四月の「世界自転車選手権・メルボルン大会」に出場、二本の日本記録を更新したのにも関わらず、ロンドンオリンピック出場権を獲得できなかった。

「ロンドンに応援に行こう!」と立ち上げていただいた後援会の皆さんにとっても残念な結果に終わり、誠に悔しい思いではある。私も



加瀬加奈子選手後援会より贈呈された応援幕

再びヒースロー空港のタラップを降りる夢は消えてしまった。

しかしながら、その後も娘は橋本聖子氏の日本記録を大幅に更新し、始まったガールズケイリン(男子と違うのは、オリンピック規則を採用したレースになっている)では優勝を重ね、暫

恵まれたことにむしろ感謝しなくては、と思う。

女子の自転車競技がロンドン大会から採用される、ということが始まった日本の女子選手の育成。昨年の秋にやっと完成した、日本初の国際規格・屋内自転車競技場伊豆ベロドロームでのナショナルチーム・トレーニングが始まってまだ日も浅い。日本の、特に女子の自転車競技はスタートにやっと着いた所である。

後援会は七月に、五輪切符・不獲得とケイリンデビュー報告会を開催し、一旦解散となった。しかし、五輪に行かなくても応援する、という大勢の声に支えられ、新たな組織で後援会がこのたび発足。ぜひ、継続或いは新規入会いただき、今後ともご支援をお願いしたい。

ロンドン大会では、「女性の進出」が顕著だった。IOC加盟の全二〇四カ国が女子選手を派遣し、米国の金メダルは過半数が女子だったし、日本も女子がメダル獲得に貢献している。女性審判員もテレビでかなりの

数を確認できた。

かつてオリンピック創始者・クーベルタンは、一九〇〇年第二回パリ大会で女子テニス選手出場に「古代に立ち返り、裸で戦うべきだ」などと嫌がらせをして女子を排除しようとした過去をご存じだろうか。その八十年後に初の女性IOC委員の選出を経て、五輪史におけるエンターがやっとここまで来た感がある。

だが、サッカーをはじめ日本スポーツ界では、男女の報酬の差が激しい。施設の整備、選手への支援、そしてジェンダーへの理解が今後のスポーツ発展のカギであらう。

最近訪問した、イスラム圏からのベールの女性選手出場が素敵だった。メダルに遠かった、世界第二位の高峰・K2のある敬虔なイスラム国家・パキスタンに敬意を表し、国歌を記そう。「清浄なる大地に栄えあれ／美しき国土に栄えあれ／汝は高邁な決意の象徴なり／故国パキスタンよ／我らの信仰の牙城に栄えあれ」



ボブの独り言

# 門前の小僧

## 習わぬ経を読む……ボブの独り言

連日の猛暑で人・犬・猫・庭の草花から大きな悲鳴が聞こえて来そうです。テレビの一週間の天気予報を見てもお日様マークばかり……。お日様は嬉しいことの方が多いのですが、こんなに照りつけられると切なくなってしまう。

私はというと、犬のノンモ



そうですが、今一番毛が抜ける時期なのです。でも私は真人君のシーツの上で寝たりするものですから、「せつかく変えたばかりなのに、もう毛だらけだわ！」と久美子さんの声。日に何度も何度も掃除機の音が聞こえ申し訳なく思うのですが、季節が変わるまでどうしようもありません。

でも、お盆の前に私はあそこ連れて行かれ、シャンプーの後で毛を本当に短く切られてしまいました。私にはペルシャの血が少し入っているので、毛並みが良いと自己満足をしていたのですが、みんな「ボブ素敵ね！可愛くなったじゃない？」とお誉めの言葉をいただいた上に「毛の落ちる量が違うのよ！これから定期的にカットしてもらおう」と言う声が聞こえてきた以上あきらめの境地です。それでシーツの上に寝かせてもらえないなら我慢しなければなりませんね。

八月下旬に二歳になったばかりの真人君「門前の小僧習わぬ経を読む」とはよく言ったものです。本堂が大好きで、本堂に行くと木魚と鐘にかけてある布を取り、「バーバあっち」と椅子を

指差し、バーバは椅子に腰掛けて自分のお経を聴いていなさいというのでしょうか？言う通りにすると、木魚と鐘を叩いて「かんじーだいぼー」と般若心経を唱えているのでしょうか？時折後ろを振り返ってとても嬉しそうに顔をするので、そんな真人君ももうじきお兄ちゃんになるのです。ママを独り占めできるのがあと僅かだというのが解るのでしょうか？ママから離れないことが多くなってきました。

この季刊紙が皆様のもとに届く頃には、真人君に可愛い弟が誕生し、かいがいしく世話？をしていることと思えます。暫くは淋しい日々を送らなければならぬかもしれません。ニヤーン

### 編集 雑感

ロンドンオリンピックはメダル三十八個で選手の大張りりと応援への感謝の言葉そして、笑顔に感動でした。東北に縁のある選手が多く、「あの災害に遭った皆さんの力になれたらとの気持ちで頑張りました」と語っていました。その想いはうれしく伝わってきます。

その東北、石巻・女川へ七月に行ってきました。昨年に次いで震災後二度目です。今行ってみて感じたことは昨年から大きな変化が無い。未だに手つかず状態のところがある。僅かな浸水程度で済んだところは何事も無かったように動いている。そこから車で五分、津波の直撃を受けたところとの光景の落差。

今回行った女川町の病院は高台にあり、その眼下の街の中心部は横倒しの鉄筋建物が一つ忘れ去られたように残り、それ以外は広野原病院まで津波は来なかったと思いきや、この玄関の天井の処までとのこと。町全体が水没した二十メートルにはなる津波です。その時の光景を想像しただけで恐怖感を覚えます。

復興が進んでない理由を訊いてみると、一つは業者が足りない。公共事業費削減で業者が激減。復興景気が見込まれても数年で、その後を考えると規模拡大など出来ない。中越地震後の業者の皆さんの言葉と同じです。

もう一つは移転場所が決まらない。あの恐怖体験があつては海辺へ再建築は出来ない。でもそれに代わる場所も簡単にみつからない。早く良い方向を見つけて出して欲しいと願うばかりです。そして、長岡が中越地震から漸く立ち直ったように、立ち直った東北へ三度目・四度目の訪問をしたいと思っています。

(高橋潔)

第六十号、新年号は平成二十五年二月一日(火)発刊予定です

### お便り原稿用紙

季刊誌では、壇信徒・読者の皆さまと、ごいっしょに誌面をつくりながら、コミュニケーションを深めたいと思います。ハガキまたはお手紙、ファックスなどで、お気軽にお便りをお寄せください。お待ちしております。

#### 原稿の例

- 思い出話／ご家族、ご先祖、お寺の思い出話など。
- 私に言わせて／家事や子育てのお話、身近な出来事など。
- 教えてください／仏事のしきたりや疑問（編集部や住職がお答えします）など。
- 嬉しい・楽しい・嬉しかったこと、楽しかったこと、悲しかったこと、怒ったこと。